

# 自衛隊明記は理解できる

## 公明・北側一雄憲法調査会長に聞く



インタビューに答える公明党憲法調査会  
の北側一雄会長

公明党憲法調査会の北側一雄会長に憲法改正について聞いた。

—憲法9条への公明党の考え方は。

「戦争放棄の1項、戦力不保持の2項は今後も堅持するのが基本的な考え方だ」

—安倍晋三首相（自民党総裁）が唱える1、2項を維持する自衛隊明記案をどう評価するか。

「一部にある自衛隊違憲論を払拭したいとの趣旨は理解できる。自衛隊の活動範囲にいささかの変更もないのなら、理解できな

いわけではない。ただ自衛隊が違憲だと思っている国民は相当少ないのではないかと。緊急性はあるのかなと感じている。憲法は条文が大事だ。（自民党から）具体的な条項案が提案されるのであれば、公明党としてもしっかり議論させてもらいたい」

—自民党の石破茂元幹事長は2項削除論者だ。

「2項を触るのでは国民の理解が得られない。1、2項の下でどこまで自衛措置が許されるのか限界を定めたのが、集団的自衛権行使を一部容認した安全保障関連法だ。そこを変えるような話は大前提としてだ」

「大事なものは安保法を適切に運用し、国民の理解を深めることだ。そちらの方が優先順位は高い。9条改正は相当なエネルギーが必要だ」

—自民党は年内の改憲発議を目指している。

「9条で国民投票を実施する以

上、圧倒的な賛成票を得なければならぬ。リスクを負うような国民投票にしてはいけない。与党だけできる話ではなく、野党を巻き込んだ合意形成が必要だ」

—大災害などに対応する緊急事態条項新設は。

「国民の権利制限の根拠を設ける必要があると思わない。国会議員の任期延長は議論に値する」

—教育の充実や強化を憲法に書き込む案は。

「必要性を感じない。そういう規定を設ける意味合いがあるのか」

—自民党は参院選の「合区」解消で各都道府県から1人以上選出できる規定を盛り込む方向だ。

「1票の価値は平等でなければならぬ。そこを抜きにして、単に都道府県代表を出すという議論は疑問だ」

—改憲案をまとめる予定は。

「現時点ではないが、焦点がかなり詰まってくるのであれば見解を取りまとめないといけない」